

第七次栗東市行政改革大綱令和元年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目			改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標	令和元年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
							指標			
1 市民参画と協働によるまちづくりの推進	(1) 意識の醸成	市民参画と協働のまちづくりへの理解促進	「市民参画と協働のまちづくり推進条例行動計画」の推進	自治振興課		市民参画等推進委員会での二次評価(評価・検証)回数	「市民参画と協働によるまちづくりの推進条例行動計画」の改定に向けて、委員会検討を行い、市が目指す協働や「新しい公共」の姿、その取り組み方策等を明らかにし、今後の市民参画と協働によるまちづくりの指針となる改定を行います。	3	現行の行動計画での進行管理及び課題整理を行い、新計画の骨子案を検討しています。	
			啓発・情報発信	自治振興課	秘書広報課	「市民参画と協働によるまちづくり通信」配信回数	・あらゆる機会を通じて、市民参画と協働によるまちづくりへの意識の醸成を図るとともに、活動事例や成果を積極的に情報発信します。 ・市民参画と協働によるまちづくりへの意識の醸成を図るとともに、活動事例や成果を積極的に情報発信します。	3	市広報や市民参画と協働によるまちづくり通信にて、市民や職員向け、活動事例など情報配信。概ね計画通り実施しました。	
	(2) 行政への参画	PDCAサイクルの各段階での参画推進	パブリックコメントや各種アンケート調査などによる市民意向の把握	秘書広報課		実施したパブリックコメントに対する意見の集約	パブリックコメント等により市民意向を把握し行政への市民参画を推進します。	2	R元年度実施予定のパブリックコメントについて、把握を行っています。(予定件数:14件)実施あたっては、市民への情報提供に努めます。	
			市民参画と協働によるまちづくりの推進管理	自治振興課	元気創造政策課	市民参画等推進委員会での二次評価(評価・検証)回数	個別計画や各種施策において、計画(Plan)段階、実行(Do)、検証(Check)、見直し(Action)段階において市民参画を推進し、市民目線を重視した取り組みを促進する仕組みを検討・実施します。各施策において市民参画と協働を推進する仕組みを検討・実施します。	3	現行の行動計画での進行管理及び課題整理を行い、新計画の骨子案を検討しています。	
	(3) 広聴制度の充実	積極的な情報共有と説明責任の徹底	「市長のこんにちはトーク」、 「市長と気軽に栗東まちづくり座談会」などの制度充実	秘書広報課		「市長のこんにちはトーク」、「市民と気軽に栗東まちづくり座談会」参加者数	市長と市民の直接対話による貴重な機会を生かし、いつまでも住み続けたい安心な元気都市栗東に向け取り組みます。	3	市長への手紙116件、出前トーク30回などの取り組みを行い、市民の意見や提案による対話型まちづくりを推進しました。 なお、市長と気軽にまちづくり座談会は、11月実施に向け業務を進めています。	
			市民の意見や提案に関する情報のナレッジマネジメントの構築	秘書広報課		ナレッジマネジメントの仕組みの検討	広聴制度を充実し、市民の意見や提案の共有化・明確化を図り、蓄積する仕組みを作ります。	2	市民からの提案や意見は、庁内LANなどを通じて組織内で共有を行います。	
			市民意見を公開する制度の検討・実施	秘書広報課		市民からの意見を市政に反映するため、整理した情報を広報等で公開した件数(延べ件数)	市長への手紙など市民意見等の反映や対応の考えをできる限り公表する制度を検討し実施します。	2	市長への手紙やまちづくり座談会での市民からの提案や意見は、直接所管課に対応することを依頼しています。 庁内LANなどを通じて組織内で共有し、HPでも公開します。	
	(4) 協働の実践	公共サービスの主体を育む協働事業の充実	庁内各課による地域等への協働事業の参加呼び掛け・コーディネート	自治振興課		職員研修等への参加人数	・庁内各課が協働事業の可能性を検討し、地域や団体などへの呼び掛け・マッチングやコーディネートに取り組むことで、今後の公共サービスを担う主体を育みます。 ・庁内各課による協働事業の可能性検討を促進します。	3	今年度も協働事業の理解と推進のための研修を検討中です。	
			大学や企業などとの多様な連携・コラボレーションの検討・実践	自治振興課	商工観光労政課 元気創造政策課 学校教育課	職員研修等への参加人数	大学や企業などとの多様な連携を検討します。庁内各課が協働事業の可能性を検討し、大学や企業などへの呼び掛け・マッチングやコーディネートに取り組むことで、今後の公共サービスを担う主体を育みます。	3	龍谷大学との協定にもとづき連携協議会を設置し、個々の事業について協議を行っています。	
			協働事業制度の活用・充実	自治振興課	元気創造政策課	協働事業提案制度実施団体件数	・多様化・複雑化する地域課題や市民ニーズに対し、適切な公共サービスを提供していくため、様々な行政分野で市民参画と協働によるまちづくりが進展するよう、協働事業制度の活用・充実を進めます。 ・行動計画の改定により、さらに制度の活用・充実を図ります。	3	今年度も協働事業の理解と推進のための研修を検討中です。	
	(5) 地域との協働の推進	地域主体のまちづくりに向けた環境整備	地域活動補助金制度の再編・統合、交付金化の検討・実施	自治振興課	財政課	交付金化補助金延べ数	・まちづくりの進展や、個々の地域課題への柔軟な対応に向け、更なる地域活動に係る補助金制度等の再編・統合、交付金化に向けた取り組みを進めます。 ・地域活動補助金制度の改善を検討します。	3	自治会活動交付金を交付済です。	
			自治連合会、地域振興協議会、コミセンの連携充実のための仕組みの検討・実施	自治振興課	生涯学習課	地域振興協議会連絡会開催数	・まちづくりの進展や、地域課題への柔軟な対応に向け、自治連合会、地域振興協議会、コミセンの連携を充実するなかで、地域主体のまちづくりの検討を進めます。 ・自治連合会、地域振興協議会、コミセンの連携充実のための仕組みを検討します。	3	自治連合会や地域振興協議会連絡会及びコミュニティセンター管理運営団体長会議を開催しました。各団体における課題等について、検討協議中です。	
	(6) プラス創造型改革	協働によるまちづくりを支える仕組みづくり	「市民人材バンク」の仕組みづくり・運用	自治振興課	生涯学習課	人材バンク登録団体数・人数(生涯学習、ボランティアセンター)	市民参画と協働によるまちづくりの進展を図り、まちづくり情報を集積・共有するため、市民人材バンクあり方や仕組みについて検討します。	3	ボランティア市民活動センターと活動団体間の情報交換がしやすい仕組みづくりを検討しています。	
			NPOやボランティア団体、大学や企業等との連携・プラットフォームづくり	自治振興課	商工観光労政課 元気創造政策課	プラットフォーム数	・市民参画と協働によるまちづくりの進展を図るため、NPOやボランティア団体、大学や企業等との連携や、プラットフォームづくりを進めます。 ・連携や、プラットフォームづくりを進めます。	2	連携・情報交流する場の拡大について検討中です。	
			中間支援組織・機能の充実	自治振興課		中間支援組織数	市民参画と協働によるまちづくりを推進する中間支援組織・機能の充実を図ります。	3	ボランティア市民活動センターと中間支援組織のあり方について、協議検討中です。	

第七次栗東市行政改革大綱令和元年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目		改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標	令和元年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
						指標			
2 地域資源とわがまち意識を育む行政運営	(1) 事務事業の見直し	栗東ならではのまちづくりの創造	大学包括協定など、積極的な大学連携への取り組み	自治振興課	元気創造政策課、総務課、学校教育課	連携大学数	市民参画と協働によるまちづくりの更なる進展を図るため、大学連携に向けた取り組みを進めます。	3	龍谷大学との協定にもとづき連携協議会を設置し、個々の事業について協議を実施しました。
			事務事業の見直し・再編(優先順位の決定)	元気創造政策課	総務課	事務事業の見直し・再編による公共サービス主体の明確化	次期総合計画や行政改革大綱の策定過程において、事務事業の優先順位付け、さらなる重点化に取り組みます。	3	第六次総合計画の策定過程において、事務事業の優先順位付けや重点化の検討を行いました。
			公共事業における投資的経費の節減	財政課	元気創造政策課	普通会計市債残高	プライマリーバランスの黒字維持につながる財政運営に努めます。	3	令和元年度の投資的経費の節減による市債発行額の抑制を図ります。
	(2) 民間委託等の推進	新たなアウトソーシングの推進	総合的・組織横断的なアウトソーシングの検討・実践	元気創造政策課	総務課、自治振興課	事務事業の見直し・再編による公共サービス主体の明確化	さらなるアウトソーシングを推し進めるべく、次期総合計画や行政改革大綱の策定過程において、民間活力をさらに活用するための判断基準の検討を行います。	3	次期総合計画や行政改革大綱の策定過程において、さらなるアウトソーシングを推し進めるため、明示していく内容の検討を行いました。
			公共施設等総合管理計画の策定、計画的な維持管理の実践	財政課		計画の策定及び施設の最適化の実施(進捗率)	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設計画を各所管課において策定するとともに、長寿命化等の優先性の検討を行います。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の具体的な取り組みに向けて行った、有効活用のための課題整理と優先性の検討結果に基づき、幼保・スポーツ施設・図書館等44施設の個別施設計画の策定を行っています。
			広域計画(連携協約)など広域行政の推進	元気創造政策課	総務課	広域計画(連携協約)などの検討と推進	近隣市と広域行政協議会において、広域的課題を共有し、その解消に努めます。	3	・湖南総合調整協議会や広域行政協議会(守山市)において、広域的課題や情報の共有が図れました。 ・草津市及び湖南市については、今後協議を行う予定です。
	(3) 情報提供のあり方の見直し	市民への決め細やかな情報提供・情報共有	広報りっとうや市ホームページ等の充実、情報提供のあり方全体の見直し・実践	秘書広報課		ホームページアクセス件数、Facebook いいね！件数(開設後延べ件数)	市民と行政の協働型Facebook「うまさざる栗東」を活用し、市へのシビックプライド(郷土愛)が醸成される投稿を推進します。	3	・市民と行政の協働型発信により、Facebook「うまさざる栗東」の運用を行っています。 ・現在、トップページへの「いいね！」数は、9月末で1,661(前年度から196増)。 ・本年度の市民記者(りっとうミツケター)投稿率は21.7%、全体の投稿数に対するいいね！件数は5,976となっています。
			グループウェアシステムを活用した積極的な情報共有	総務課	元気創造政策課	「電子会議室」の開設数	グループウェアシステムの機能を最大限に活用し、積極的な情報共有に取り組みます。	2	グループウェアシステムの活用については検討中です。
	(4) 経費の削減	積極的なコスト管理の推進	コストの見える化による事務改善の推進	元気創造政策課	財政課	事務改善の推進	必要がなくなった予算を使う意識から残す意識への職員のさらなる意識改革や事務事業の執行に取り組みます。	3	必要がなくなった予算を使う意識から残す意識への職員のさらなる意識改革や事務事業の執行に取り組んでいます。
			国・県等の補助制度の積極的な活用	財政課	元気創造政策課	グループウェアシステムを活用した継続的な制度紹介(実施率)	国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行います。	3	予算編成にあたり、国・県などから提供された情報を提供し、特定財源の積極的な確保を図ります。
			情報システム活用の最適化	総務課		情報システム活用による紙・エネルギー・時間等の節減	グループウェアシステムの機能を最大限に活用し、情報システム活用の最適化に取り組みます。	2	効果的な情報システム活用のあり方を検討中です。
	(5) 人員の適正化	事務事業量と人員の適正化	事務事業量の把握(栗東モデルの構築)	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数	働き方改革とも関連し、事務事業の改善、アウトソーシング等の視点を踏まえながら、適正な人員規模となるように努めます。	3	定員管理計画を基本としながらも、業務量を勘案する中で適正な人員確保を行いました。
			組織の適正化の検討・実践	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数	定員適正化計画の取組成果を検証し、必要に応じた計画人員数の見直しも視野に、新規の行政需要・課題等に対応するための職員採用を計画的に進めます。	3	定員管理計画に基づく取り組み成果の検証を踏まえた採用事務を実施します。
	(6) 外郭団体のあり方見直し	経営効率化や整理統合の推進	外郭団体等の経営効率化・整理統合	元気創造政策課		外郭団体等の経営効率化・整理統合	外郭団体や出資団体、財政援助団体などに対して経営状況の改善を促します。	3	出資団体に対して、可能な限りの事業協力依頼を行いました。
	(7) プラス創造型改革	栗東愛を育む創造的な行政運営	地域資源活用ビジョンの策定・実践	秘書広報課	元気創造政策課	地域資源活用ビジョンの策定・実線	・引き続き、シティセールス戦略の推進に取り組みます。 ・市の魅力を発信することにより、栗東の元気創造につながる動画投稿の推進を図ります。	3	・シティセールス戦略会議やコア会議にて、今後の展開について協議を実施。 ・YouTube上で展開している元気創造動画への市民からの投稿数は1件と減少傾向にあります。また、Facebook「うまさざる栗東」にて市民記者(りっとうミツケター)による動画投稿が1件となっています。
			人口ビジョン・総合戦略の策定・実践	元気創造政策課	秘書広報課	戦略の策定・実践	民間事業者による「ホース・アシステッド・セラピー」を取り入れた放課後等デイサービス事業の取り組みを可能な限り支援します。 総合戦略の改訂に向けた準備・検討を行い、戦略を改訂します。	3	・六地藏地先の旧住民憩の家跡地について、民間事業者土地を貸し付けることで、馬を活用した放課後等デイサービス事業の取組支援を行いました。 ・後半期に向けて、総合戦略の改訂に向けた準備・検討を行いました。
			市民のわがまち意識(シビックプライド)の醸成	自治振興課	秘書広報課、元気創造政策課	地域コミュニティ進行調整担当課職員数	市民のわがまちに向けた誇りや愛着の醸成を進め、市民の栗東愛につながる行政運営に取り組みました。	3	自治会活動等への運営支援を通じて、郷土愛の醸成に貢献。

第七次栗東市行政改革大綱令和元年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目			改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標	令和元年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)	
							指標				
				都市のブランド戦略の推進	秘書広報課		シティセールス戦略の策定・実線	マスコットキャラクターくりちゃんを活用し、市をPRすることによりシティセールスの一翼を担います。	3	マスコットキャラクターくりちゃんについては、栗東市をPRすることを目的に市内外のイベントや事業に着ぐるみ出演。(出動回数29回(前年同時期28回)、ゆるキャラグランプリ2019にエントリー中。(9月現在、427体中98位)	
				新産業創造イノベーションの推進	商工観光労政課		収集した情報の分析	官学金連系の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集を行います。	3	県の産業立地推進協議会等や市中小企業振興会議に参画し、情報収集と連携を行っています。	
3	規律を遵守した堅実な財政運営	(1)	財政規律の確保	収支バランスの取れた財政運営	財政課	元気創造政策課	財政運営の基本方針の策定(達成率)	財政運営基本方針を遵守した財政運営を行うとともに、必要に応じて同方針を見直します。	3	財政運営基本方針を遵守した財政運営のため、予算執行説明会等において周知を行うとともに、予算執行に努めました。また、現行の財政運営基本方針が本年度までであることから、来年度以降に向けて改訂作業に着手しています。	
				収支バランスの取れた財政運営	財政課	元気創造政策課	毎年度の中長期財政見通しの策定(改訂)	・中長期財政見通し策定における特定事業の採択を通じて、事業の選択と集中を行います。 ・来年度予算編成に向けて、「選択と集中」による具体的な事業内容の精査を行います。	3	・一定の前提条件に基づき、策定、議会への説明及びホームページでの公表を実施済みです。 ・今後、来年度予算編成に向けて、具体的な事業内容の精査が必要です。	
				市民の暮らしを支える安定的な収入の確保	秘書広報課		栗東市地域基本計画新規雇用創出人数	・企業等との連携を深め、情報共有並びに市のPRに努めます。	1	トップセールスは、上半期は取り組めていないことから、下半期の実施に向け関係課と協議中であり、調整に基づき展開を図ります。	
	(2)	歳入の確保	市民の暮らしを支える安定的な収入の確保	トップセールスの展開、企業誘致の推進	秘書広報課		栗東市地域基本計画新規雇用創出人数	・企業等との連携を深め、情報共有並びに市のPRに努めます。	1	トップセールスは、上半期は取り組めていないことから、下半期の実施に向け関係課と協議中であり、調整に基づき展開を図ります。	
				コンビニ収納などの払いやすい環境づくり、使用料等への拡大の検討	総務課	財政課、会計課	コンビニ収納の割合	納税者の利便性向上を図るためのコンビニ収納の継続	3	関係機関との連携のもと、確実なコンビニ収納を行っています。	
				ふるさと応援寄附金制度の活用に向けた記念品贈呈事業の再検討	元気創造政策課	税務課、財政課、会計課、総務課	ふるさと記念品目数	納税サイトのクレジット決済に新たに楽天㈱を追加することで、利便性の向上により、寄附金額の増額を目指します。	3	インターネットポータルサイトに新たに楽天ふるさと納税を追加することで、利便性の向上を図りました。10月からの新ラインナップによる記念品提供に向けた諸準備を行いました。	
3	規律を遵守した堅実な財政運営	(2)	歳入の確保	市民の暮らしを支える安定的な収入の確保	市有地の売却、未利用地の有効活用	財政課		対象用地市有地の売却・活用件数	遊休財産の処分に向けた環境整備を進めます。	3	処分可能用地について、売却条件整った用地について、今後、売却予定です。
					国・検討の補助制度の積極的な活用	財政課	元気創造政策課	グループウェアシステムを活用した継続的な制度紹介(実施率)	国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行います。	3	予算編成にあたり、国・県などから提供された情報を流し、特定財源の積極的な確保を図ります。
					広報料収入等による財源確保	財政課		公用車広告料、庁舎広告料	継続して庁舎及び公用車等の広告料収入を安定して得られるよう、広告募集等を随時行います。	2	・対象24台中14台に掲載済みです。 ・引き続き広告事業者の確保に努めます。
					税外債権の徴収率向上を図るための利用料金徴収条例等の検討・実践	税務課		債権管理に関する条例の制定	債権管理条例に基づく税外債権の適正な管理	3	私債権について、債権管理条例に基づき、適正な手続きによる債権放棄を行いました。徴収についても適正な管理がされるよう、債権管理連絡会議を通して、全庁的な取り組みが必要です。
					職員・市民のコスト意識の醸成	元気創造政策課	財政課	職員・市民コスト意識の醸成	財政健全化に向けたさらなるコスト意識の向上に取り組めます。	3	第七次行政改革大綱や(新)集中改革プランの効果額検証などを通じて、財政健全化に向けたさらなるコスト意識の向上に取り組めました。
		(3)	歳出の削減	歳入に応じた適切な支出	公債費抑制のための目標設定、目標達成のルールづくり・実践	財政課	元気創造政策課	実質公債費比率	財政運営基本方針に基づき、公債費の低減につながるよう低利での資金調達を行います。	3	財政運営基本方針に基づき、公債費の低減につながるよう、銀行等引受債の低利での資金調達に向けた協議調整を行います。
					公共施設等総合管理計画の策定、計画的な維持管理の実践	財政課		計画の策定及び施設の最適化の実施(進捗率)	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設計画を各所管課において策定するとともに、長寿命化等の優先性の検討を行います。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の具体的な取り組みに向けて行いました、有効活用のための課題整理と優先性の検討結果に基づき、幼保・スポーツ施設・図書館等44施設の個別施設計画の策定を行っています。
					公共事業における投資的経費の節減	財政課	元気創造政策課	普通会計市債残高	プライマリーバランスの黒字維持につながる財政運営に努めます。	3	令和元年度の投資的経費の節減による市債発行額の抑制を図ります。
		(3)	歳出の削減	歳入に応じた適切な支出	ライフサイクルコストを踏まえた公共工事の実施	財政課		公共施設等総合管理計画を踏まえた、中長期財政見通し(特定事業)の毎年度の見直し(進捗率)	公共施設等総合管理計画における基本方針を踏まえた中長期財政見通しにする中で、ライフサイクルコストの縮減につなげます。	3	公共施設等総合管理計画における基本方針を踏まえた中長期財政見通しにする中で、ライフサイクルコストの縮減に向けて、個別施設計画の策定を行っています。
					予算・決算等の財務情報の市民によって分かりやすい情報発信	財政課	秘書広報課	予算・決算の市広報や市ホームページへの定期的な情報掲載(実施率)	予算・決算等の市広報や市ホームページへの情報掲載について、より分かりやすくといった視点で見直し検討を行います。	3	本年度予算の概要及び中長期財政見通し等を広報、ホームページにおいて公表済みです。
		(4)	プラス創造型改革	コスト意識を醸成する市民との協働	受益者負担や使用料、補助金・負担金の基準づくり・実践	元気創造政策課		受益者負担や使用料、補助金・負担金の基準づくり・実践	次期行政改革大綱の策定過程において、受益者負担の基準見直しなど適正化に向けた検討を行います。	3	次期行政改革大綱の策定に向けて、受益者負担の適正化に向けた各課照会資料の準備を行いました。

第七次栗東市行政改革大綱令和元年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標	令和元年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)		
					指標					
		新産業創造イノベーションの推進	商工観光労政課		収集した情報の分析	官学金連系の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集を行います。	3	県の産業立地推進協議会等や市中小企業振興会議に参画し、情報収集と連携を行っています。		
4	柔軟性のある組織体制に向けた風土改革	(1) 組織体制の整備	行政ニーズに対応できる柔軟な組織づくり	事務事業量の把握(栗東モデルの構築)	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数	働き方改革とも関連し、事務事業の改善、アウトソーシング等の視点を踏まえながら、適正な人員規模となるように努めます。	3	定員管理計画を基本としながらも、業務量を勘案する中で適正な人員確保を行いました。
				職員の士気を高める仕組みづくり	総務課	元気創造政策課	人事評価の実施(実施率)	人事評価制度を利活用し、職場風土の改善を進め士気を高めます。	3	従前は、目標設定と同時に上半期評価のタイミングであったが、H31は目標設定時期を前倒しし、本来あるべき実施スケジュールにより取組んでいます。
				職員の意欲と能力を踏まえた人員配置	総務課		職員一人当たりの市民の数	定員適正化計画等に基づき、不足する職員を年度内において随時途中採用します。次年度の総職員数を踏まえ、必要な職種について人材確保を図ります。	3	定員管理計画に基づく取り組み成果の検証を踏まえた採用事務を実施します。
				計画的な定員管理と専門職員の確保、職員の年齢構成バランスの確保	総務課		職員一人当たりの市民の数	定員適正化計画等に基づき、不足する職員を年度内において随時途中採用します。次年度の総職員数を踏まえ、必要な職種について人材確保を図ります。	3	定員管理計画に基づく取り組み成果の検証を踏まえた採用事務を実施します。
				組織改革・人事異動方針の決定プロセスの見直し・充実	総務課	元気創造政策課	組織見直しの実施	組織改革や自己申告書の反映状況を確認し、今後の検討材料とします。	3	職員自己申告書は1月に実施予定。9月には年度末定年退職者に対する再任用希望調査を実施。
		(2) 人材育成	意欲と能力を高める計画的な人材育成	国・県との人事交流や外部人材登用の推進	総務課		人事交流・外部人材登用の実施	次年度以降の派遣先の検討等を実施します。	3	国・県等への派遣職員について協議を実施しました。
				人材育成基本方針の見直し、計画的な職員研修を通じた職員の意識改革の推進	総務課		集合研修参加率(正規職員)	人材育成基本方針(第2次改定版)による計画的に研修を実施します。	3	集合研修、派遣研修共におおむね計画に沿って適正な事業進捗です。
				意欲と能力を高める人事評価制度の導入・実践	総務課		全職員を対象とした人事評価の実施(実施率)	効果的な人事評価(目標管理)制度の実施により、士気を高めます。	3	H31は目標設定時期を前倒しし、本来あるべき実施スケジュールにより取組んでいます。
		(3) 職場環境の活性化	コミュニケーション豊かな主体的な風土への改革	庁内のナレッジマネジメントの構築・運用	元気創造政策課	秘書広報課	庁内のナレッジマネジメントの構築・運用	ナレッジマネジメントの仕組みづくりについては、引き続きその手法を検討します。	3	グループウェアシステムを活用した、可能な限りの諸情報の共有に努めています。
				市長と職員や、組織横断的なコミュニケーションの強化・充実	総務課	元気創造政策課	市長と職員の情報共有の実施(回数)	部次課長会の内容改善等に取組み、情報共有を図り、改善がさらに図れないか検討します。	3	会議内容のさらなる改善を検討しています。
				職員提案制度に充実、アイデアを施策に反映する仕組みづくり	元気創造政策課	総務課	職員提案制度の充実を行う	職場風土の活性化や職員の意識改革につなげるため職員提案制度を継続し、工夫によりさらなる制度の浸透を図ります。	3	職員提案については、今後、可能な限り出てきた提案を活かす工夫をしていきます。そのことにより、職員提案が出やすい雰囲気づくりをします。
		(3) 職場環境の活性化	コミュニケーション豊かな主体的な風土への改革	広域交流による情報交換	総務課		他市や民間企業との人事や交流による情報交換会の回数	人事担当により、他市の情報を取得し今後の計画に生かしていきます。新年度に向けた人事交流について検討を行います。	3	人事担当会議等の機会をとらえ、他市の情報を取得しました。
		(4) プラス創造型改革	行政への信頼感を育む市民との協働	市民の意見や提案に関する情報のナレッジマネジメントの構築	秘書広報課		ナレッジマネジメントの仕組みの検討	ナレッジマネジメントの仕組みづくりについては、引き続きその手法を検討します。	3	グループウェアシステムを活用した、可能な限りの諸情報の共有に努めます。
		4	柔軟性のある組織体制に向けた風土改革	(4) プラス創造型改革	行政への信頼感を育む市民との協働	市民に分かりやすい組織目標の設定・目標管理、市民への情報発信	元気創造政策課	総務課	市民に分かりやすい組織目標の設定・目標管理、市民への情報発信	品質目標マネジメントシート(簡素化)及び目標進捗状況シートを用いて、行政経営ツールの評価・改善を行います。第五次栗東市総合計画および第七次栗東市行政改革大綱の総まとめの評価を行い、第六次栗東市総合計画および第八次栗東市行政改革大綱につなげていきます。
総合計画の進行管理と目標管理を連動させた市民に分かりやすい行政評価手法(栗東モデル)の構築・実践	元気創造政策課					総務課	行政評価指標(栗東モデル)の構築・実践	品質目標マネジメントシート(簡素化)及び目標進捗状況シートを用いて、行政経営ツールの評価・改善を行います。第五次栗東市総合計画および第七次栗東市行政改革大綱の総まとめの評価を行い、第六次栗東市総合計画および第八次栗東市行政改革大綱につなげていきます。	3	次期総合計画などの進行管理において、可能な限りのシートの合理化・簡略化および事務の簡素化を行うべく、その諸準備および検討を行いました。